



西中だより

第14号 令和6年9月26日(木)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心とたくましい体をもった生徒の育成」

発行：校長 寺田 是

「学習状況調査」の結果をお知らせします

○結果の概要 生徒の学習環境や生活環境を把握するために、全65問からなる質問紙調査(アンケート)が行われました。以下に、全国と比べて、良好であった事柄(質問項目)を示します。

(本校の良さ) (全国を5ポイント以上、上回っているもの)

○授業

- ・授業でPC・タブレットなどのICT機器を活用して楽しみながら学習を進めることができる 88%
- ・話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づくことができている 94%
- ・学級生活をよくするために学級で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている 93%
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる 97%

○道徳心

- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う 81%
- ・人が困っているときは進んで助けている 94%
- ・いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う 100%
- ・人の役に立つ人間になりたい 97%

○学校生活

- ・学校に行くのは楽しい 90%

○家庭学習・家庭生活

- ・毎日同じくらいの時刻に寝ている 85%
- ・平日に1日あたり1時間以上勉強している(塾・家庭教師を含む) 72%
- ・休日に1日あたり2時間以上勉強している(塾・家庭教師を含む) 46%
- ・朝食を毎日食べている 85% 他



(本校の課題) (5ポイント以上下回った項目)

- ・将来の夢や目標を持っている 58%
- ・授業でICT機器を週3回以上使っている 42% 他



○まとめ

- ・全65項目中8割以上の項目で全国を上回っており、「授業」、「道徳心」、「学校生活」、「家庭学習」など全般的に良好である。
- ・家庭学習については、学習時間は、全国平均と比較すると高く、例えば平日に1時間以上学習している生徒は7割を超えているが、裏を返せば1時間に満たない生徒が3割弱いるということであり、また2時間以上学習している生徒は4割弱となり、学年進行に合わせ、学習内容が増える中学生として、十分な家庭学習の時間とは言えない。その点では、さらなる家庭学習の改善に取り組んでいきたい。
- ・また「将来の夢や目標を持っている」生徒が6割弱となっている。これまでも学校での進路学習や2年時の職場体験などを行ってきたが、今後は、今年度より始めた、県立大学や西高校との連携において、年齢の近い大学生や高校生による学習や部活動支援をしてもらう中で高校生・大学生を身近なモデルとし、自身の将来を具体的にイメージできるような取組も検討していきたい。
- ・授業でのICT活用については「週1回、利用」していると回答した生徒の割合は全国と同等である。また、教科の授業外となるが家庭学習や生徒会活動ではかなりの頻度で一人一台端末が使われている。今後は、教科の特質も踏まえながら、授業において有効と考えられる場面では、より積極的に活用するようにしていきたい。

以上、全国学力・学習状況調査の結果の概要をお伝えしました。良い点が多く確認された一方で課題も明らかになりました。結果を全教職員で共有し、改善に向けて取り組んでいきますので、今後も本校の教育へのご理解とご協力をお願いいたします。